

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	毎年3月31日
公告方法	日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

お問合せ先

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用下さい。	単元未満株式の買取以外の株式売買は出来ません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡下さい。

決算情報のご案内

決算情報は、当社のホームページに掲載しております。

<http://www.sysken.co.jp/>



本 社

〒862-0976 熊本市九品寺三丁目15番7号
電話 096-372-1111(代表) FAX 096-373-0127

第56期 SYSKEN'S Report

平成20年4月1日→平成21年3月31日



SYSKEN 企業理念

品質方針
「お客様の
満足を得る」
設備、サービスを
提供する

社 是
我社は
最大の誠意を以て
最良の技術を
提供せむことを欲す

経営方針
一、志気の高揚
一、品質の向上
一、事故の撲滅
一、原価の低減
一、法令の遵守

SYSKEN 経営ビジョン

ユビキタス社会の進展に向け、信頼の技術と品質を提供する
総合エンジニアリング企業を目指す

シスケンは「SYSKENブランド(Q.C.D.M.S)」の向上に努めます。

Q (クオリティ・品質)

最新の技術力を素早く確保し、どこにも負けない優良でお客様が満足する製品を提供する

C (コスト・原価)

徹底した効率化で裏づけされたコストにより収益の最大化を図る

D (デリバリー・納期)

納期を遵守することでお客様に迷惑をかけないサービスを提供する

M (モラル・倫理)

社員教育により法令を遵守する

S (セーフティ・安全)

人身事故・設備事故・交通事故の撲滅を図る

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り有難く厚くお礼申し上げます。

さて、当社第56期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに営業の概況及び決算につきましてご報告申し上げます。

今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月



代表取締役社長
赤星 敦

営業の概況

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

◆当社グループの営業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国の経済は、米国のサブプライム問題に端を発した世界的な金融危機の深刻化による株価の下落や円高の影響により、企業収益は低迷し設備投資の抑制や雇用情勢の悪化につながり、個人消費も停滞を続けるなど先行き不透明な状況となっております。

一方、情報通信分野におきましては、本格的なコビキタス社会の実現に向けて情報通信ネットワークのブロードバンド化・IP化がますます進展するなど急速な変化が続いており、当社グループの主な取引先でありますNTTグループにおいては、NGN（次世代ネットワーク）や光アクセス通信網、高速無線通信技術（Super3G）などのフルIPネットワーク基盤を活用したブロードバンド・コビキタスサービスの本格展開を目指すこととしております。

このような状況の中、当社は従来からの電話系サービスの充実はもちろんのこと、ブロードバンド市場における光サービスの拡大に伴う工事体制の拡充、移動体ビジネスへの拡大、IP系ネットワークサービスなどトータルソリューション体制の構築に取り組むとともに、安全品質の向上、施工能力の強化及び各種業務の効率化を図ってまいりましたが、景気低迷等による売上高の減少により、当連結会計年度の受注高は265億4千1百万円（前期比88.4%）、売上高は275億5千9百万円（前期比93.5%）となりました。

また、売上高の減少等により、経常利益は10億5千4百万円（前期比93.7%）、当期純利益は5億8百万円（前期比84.7%）となりました。

◆当社グループの中長期的な経営戦略と対処すべき課題

当社グループは、現在の事業環境及び最新の情報に基づき最善の経営方針を立案するよう努めておりますが、当社グループのコア事業であります情報通信分野におきましては、ますます高度化、多様化するお客様の要望に応えるべく、今後とも信頼される技術と品質を提供する総合エンジニアリング企業を目指す所存でございます。

また、「SYSKENブランドの向上」と「全事業部門利益率の向上」の2つを経営戦略の柱とする中期経営計画を掲げ、以下の重点方針のもと、収益構造の転換と財務体質の強化を図ってまいります。

1. 利益率を重視した受注の確保
2. 効率化促進によるコストの低減
3. NGN時代に適応した組織、業務の再構築
4. 人材育成によるマンパワーと現場力の向上
5. CSR活動の全社員への普及

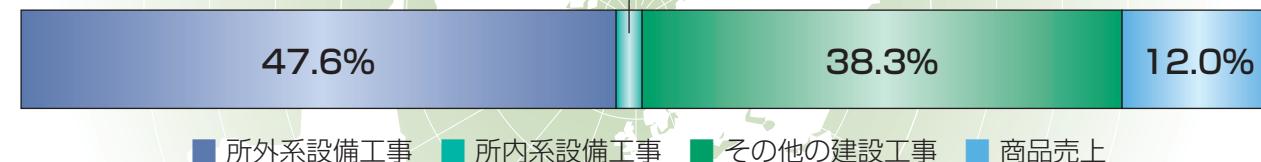
当期の受注高等

■当社グループの当期の受注高・売上高・繰越高

(単位：百万円)

区 分	前期繰越高	当期受注高	当期売上高	次期繰越高
所外系設備工事	6,471	12,954	13,102	6,323
所内系設備工事	219	539	584	173
その他の建設工事	3,059	9,740	10,560	2,239
商品売上	11	3,306	3,312	5
合 計	9,761	26,541	27,559	8,742

売上高構成比



■当社の当期の受注高・完成工事高・繰越高

(単位：百万円)

区 分	前期繰越高	当期受注高	当期完成工事高	次期繰越高
所外系設備工事	6,471	12,954	13,102	6,323
所内系設備工事	219	539	584	173
その他の建設工事	3,046	9,185	10,044	2,186
商品売上	—	693	693	—
合 計	9,737	23,372	24,425	8,684

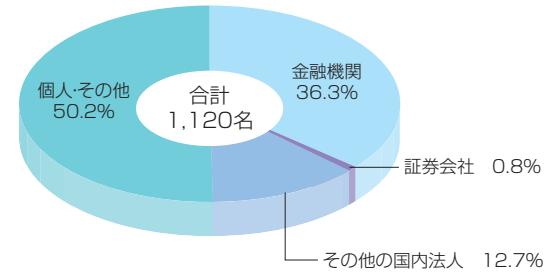
株式の状況 (平成21年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 48,400,000株
- 発行済株式の総数 13,100,000株
- 当事業年度末の株主数 1,120名
- 大株主

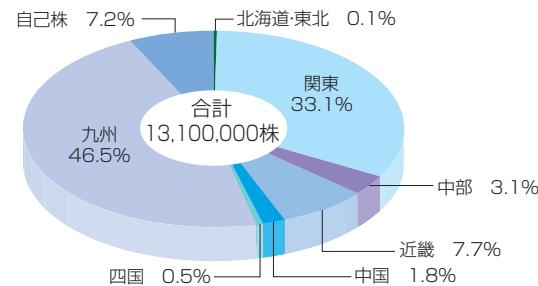
株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	出資比率 (%)
西日本システム建設従業員持株会	1,147	9.44
第一生命保険相互会社	981	8.07
日本生命保険相互会社	905	7.45
株式会社肥後銀行	600	4.94
みずほ信託銀行株式会社	435	3.58
住友生命保険相互会社	403	3.32
西部電気工業株式会社	281	2.32
株式会社コミュニチュア	260	2.14
株式会社りそな銀行	259	2.13
石兼雅之	221	1.82

(注) 出資比率は自己株式(944,439株)を控除して計算しております。

◆所有者別株主数分布状況



◆地域別株式数分布状況

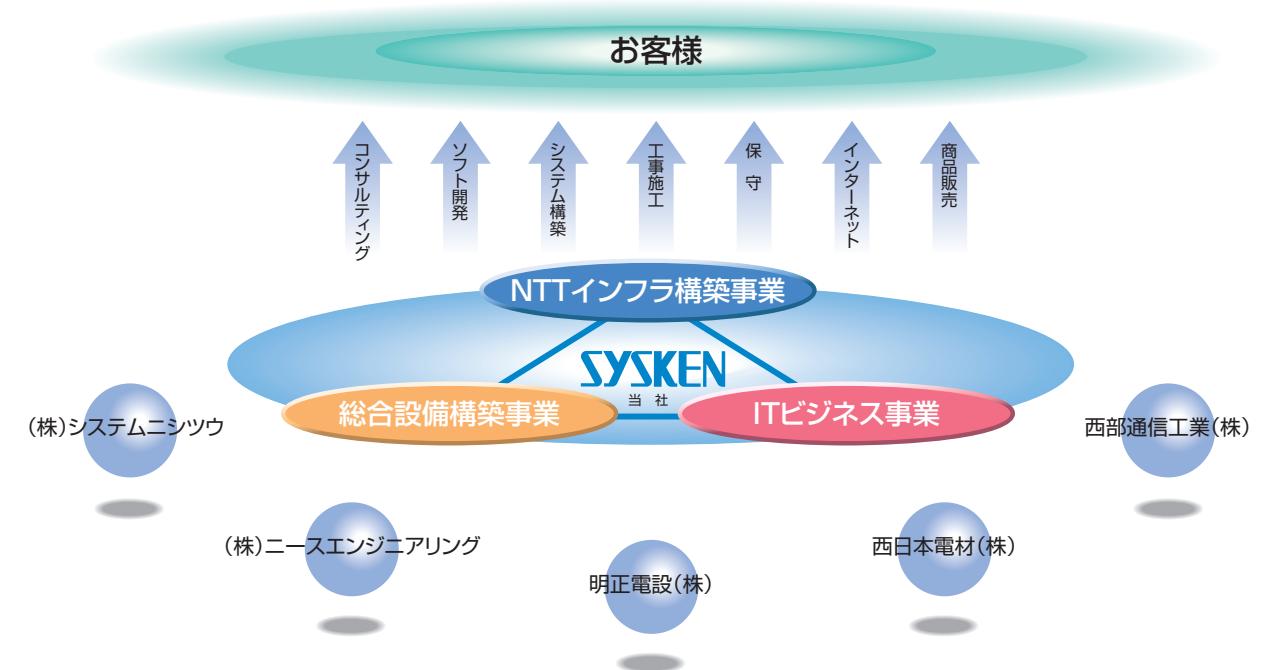


企業結合の状況

◆連結子会社の状況

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
西日本電材株式会社	40百万円	100%	電気通信材料・工具の販売並びに通信機器リース
株式会社システムニシツウ	40百万円	100%	各種OA機器・システム開発及び販売
明正電設株式会社	25百万円	100%	電気通信工事の施工

◆シスケングループの概況



連結財務諸表（要旨）

◆連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	期別		科目	期別	
	当期 (平成21年3月31日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)		当期 (平成21年3月31日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	9,969	10,734	流動負債	7,029	8,279
固定資産	7,515	7,797	固定負債	2,434	2,493
有形固定資産	3,197	3,282	負債合計	9,463	10,772
無形固定資産	248	313	(純資産の部)		
投資その他の資産	4,068	4,201	株主資本	7,922	7,602
			資本金	801	801
			資本剰余金	560	560
			利益剰余金	6,785	6,400
			自己株式	△224	△158
			評価・換算差額等	98	156
			その他有価証券評価差額金	98	156
資産合計	17,484	18,531	純資産合計	8,020	7,759
			負債純資産合計	17,484	18,531

◆連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	期別	
	当期 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)	前期 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)
売上高	27,559	29,460
売上原価	24,612	26,414
売上総利益	2,946	3,045
販売費及び一般管理費	2,116	2,123
営業利益	830	922
営業外収益	260	266
営業外費用	37	64
経常利益	1,054	1,124
特別利益	—	2
特別損失	78	102
税金等調整前当期純利益	975	1,024
法人税、住民税及び事業税	328	409
法人税等調整額	137	14
当期純利益	508	600

◆連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	期別	
	当期 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)	前期 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	548	2,057
投資活動によるキャッシュ・フロー	△258	△199
財務活動によるキャッシュ・フロー	△265	△1,565
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△7
現金及び現金同等物の増減額	24	285
現金及び現金同等物の期首残高	1,038	753
現金及び現金同等物の期末残高	1,062	1,038

◆連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（自平成20年4月1日 至平成21年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				株主資本合計	評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成20年3月31日残高	801	560	6,400	△158	7,602	156	156	7,759
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△123		△123			△123
当期純利益			508		508			508
自己株式の取得				△65	△65			△65
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）						△57	△57	△57
合計	—	—	384	△65	319	△57	△57	261
平成21年3月31日残高	801	560	6,785	△224	7,922	98	98	8,020

個別財務諸表（要旨）

◆貸借対照表

（単位：百万円）

科目	期別	当期 (平成21年3月31日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)	科目	期別	当期 (平成21年3月31日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産		8,306	9,024	流動負債		6,187	7,387
固定資産		6,252	6,515	固定負債		2,145	2,209
有形固定資産		2,882	2,918	負債合計		8,332	9,597
無形固定資産		256	324	(純資産の部)			
投資その他の資産		3,113	3,272	株主資本		6,129	5,795
				資本金		801	801
				資本剰余金		560	560
				利益剰余金		4,992	4,592
				自己株式		△223	△157
				評価・換算差額等		95	147
				その他有価証券評価差額金		95	147
資産合計		14,558	15,540	純資産合計		6,225	5,943
				負債純資産合計		14,558	15,540

◆損益計算書

（単位：百万円）

科目	期別	当期 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)	前期 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)
完成工事高		24,425	25,544
完成工事原価		22,012	23,181
完成工事総利益		2,412	2,363
販売費及び一般管理費		1,628	1,600
営業利益		784	762
営業外収益		212	203
営業外費用		30	54
経常利益		965	912
特別利益		-	2
特別損失		65	81
税引前当期純利益		900	833
法人税、住民税及び事業税		299	348
法人税等調整額		77	7
当期純利益		523	477

財務ハイライト（個別）

◆業績の推移

■総受注高・完成工事高

（単位：億円）



■経常利益・当期純利益

（単位：百万円）



■1株当たり当期純利益

（単位：円）



財務ハイライト（個別）



◆ 株主資本等変動計算書

当事業年度（自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本								評価・換算差額等		純資産合計		
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		評価・換算差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計		固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金						利益剰余金合計
平成20年3月31日残高	801	560	560	200	34	3,550	807	4,592	△157	5,795	147	147	5,943
事業年度中の変動額													
固定資産圧縮積立金の取崩					△9		9	—					—
別途積立金の積立						450	△450	—					—
剰余金の配当							△123	△123		△123			△123
当期純利益							523	523		523			523
自己株式の取得									△65	△65			△65
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）											△51	△51	△51
合計	—	—	—	—	△9	450	△40	399	△65	334	△51	△51	282
平成21年3月31日残高	801	560	560	200	24	4,000	767	4,992	△223	6,129	95	95	6,225

トピックス



平成21年度には23名の若者がシスケンに入社しました。



社会貢献活動のひとつとして、今年も「阿蘇野焼きボランティア」に参加しました。今年は、阿蘇郡高森町冬野牧野で汗を流しました。



社会貢献活動のひとつとして、業務用車両を活用した「こども110番」活動をはじめました。



技術者が現場で培った施工技術を相互研鑽することにより、技術力の向上を図るため、「第2回シスケングループ技能競技大会」を開催しました。



NTT西日本熊本支店様が行う地域貢献活動「環境クリーン作戦・2008」に参加し、清掃活動を行いました。



熊本県環境保全協議会主催の、「ブルー・グリーン・グリーン」の下草刈りボランティアに参加しました。



地域貢献活動として、長崎市内小学校通学路の伐採作業ボランティアに参加しました。

会社の概要 (平成21年3月31日現在)

設立年月日	昭和29年9月10日
発行可能株式総数	48,400,000株
発行済株式の総数	13,100,000株
資本金	801,000,000円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●電気通信設備・設計・施工・保守・コンサルタント ●情報通信 (PBX、OA) 工事、メンテナンス ●ネットワークソリューション事業 ●グループウェア、各種システム開発 ●LAN、WANイントラネット構築 ●各種通信機器、OA機器販売 ●インターネットプロバイダー ●OCN代理店、NTTdocomo代理店
上場証券取引所	大阪証券取引所市場第二部 福岡証券取引所
本店	〒862-0976 熊本市九品寺三丁目15番7号 電話 (096)-372-1111 (代表)
支社	福岡、熊本、鹿児島、東京
支店	北九州、長崎、佐賀、大分、宮崎、関西、沖縄
従業員数	607名
URL	http://www.sysken.co.jp/

役員 (平成21年6月25日現在)

代表取締役社長	赤 星 敦
取締役副社長	柏 尾 敬 秀
専務取締役	柴 野 泰
常務取締役	板 井 次 男
取締役	松 本 和 孝
取締役	緒 方 博
取締役	高 嶋 良 光
取締役	片 渕 康 文
取締役	亀 澤 知 昭
取締役	齊 藤 琢
常勤監査役	香 山 郁 夫
常勤監査役	森 豊 康
監査役	福 田 稠

主要な事業所

本社本館	熊本市九品寺3-15-7	関西支店	大阪市中央区石町1-1-1 天満橋千代田ビル2号館7F
本社別館	熊本市九品寺2-6-37	沖縄支店	那覇市大道78-7
福岡支社	福岡市早良区次郎丸6-11-46	福岡アクセスセンタ	福岡市早良区次郎丸6-11-46
熊本支社	合志市幾久富建山1909-39	長崎アクセスセンタ	西彼杵郡長与町高田郷大平1769-8
鹿児島支社	鹿児島市谷山港1-4-7	伊万里アクセスセンタ	伊万里市立花町2361-2
東京支社	東京都中央区銀座1-14-9 銀座スワロービル6F	熊本アクセスセンタ	合志市幾久富建山1909-39
北九州営業支店	北九州市小倉北区東篠崎1-5-1 NTT小倉南ビル3F	別府アクセスセンタ	別府市馬場3組-3
長崎営業支店	西彼杵郡長与町高田郷岡崎3464	中津アクセスセンタ	中津市上如水字沖の坪1781
佐賀営業支店	佐賀市日の出1-15-11	延岡アクセスセンタ	延岡市土々呂町6-1674
大分営業支店	大分市田室町8-35	鹿児島アクセスセンタ	鹿児島市谷山港1-4-7
宮崎営業支店	宮崎市日の出町35	鹿屋アクセスセンタ	鹿屋市高須町3232-1

